新春特集『夢に向かって』

いえをつくるしごとをしたい

鹿児島市立広木小学校
1年　奥　新

ぼくは、しょうらい、いえをつくるしごとをしたいです。おとうさんがいえをつくるしごとをしているので、やってみたいとおもいました。おばあちゃんのいえはおじいちゃんがつくっていて、「このいえは、じいじのあせとちとなみだでできているんだよ。」といっていました。

ぼくのいえは、おとうさんがつくりました。だいどころがひろいので、おかあさんといっしょにりょうりをつくることができてたのしいです。

いまは、がっこうのべんきょうをがんばって、つみきやブロックなどでいえのかたちをつくっています。いえをつくるしごとができるようにがんばりたいです。ぼくがつくりたいいえは、かぞくみんなでなかよくくらせるいえです。一かいのリビングでゆっくりすごせたらいいなあとおもいます。おばあちゃんも、「このいえは、あらたのあせとちとなみだでつくられているんだよ。」といってくれるとおもいます。

すてきなほいくしさんになりたいな

伊佐市立田中小学校
2年　西園　結珠

わたしは、年長のときに、ほいく園に入ったので、はじめは友だちとあそぶことができませんでした。だけど、そんなわたしに、先生はずっとそばについてくれて、すこしずつ友だちとなかよくなることができました。

また、夏まつりの太このはっぴょう会にむけたれんしゅうでは、「リズムをまちがえないかな。」とふあんでした。そのたびに、先生がはげましてくれて、たくさんれんしゅうにつきあってくれました。そして、本番は大せいこうでした。

わたしも、先生にしてもらったように、小さな子どもたちをささえることができるようなすてきなほいくしさんになりたいです。

そのために、べんきょうやピアノをがんばり、友だちとなかよくすごすことを大切にしたいです。

わたしのしょう来のゆめは、すてきなほいくしさんになることです。なぜなら、妹たちのおせ話をすることがすきだからです。

めざせ、サッカーせんせい

曽於市立光神小学校
3年　白坂　瑠星

ぼくのしょう来のゆめは、サッカーせん手になることです。おじのかずき兄ちゃんと遊んだとき、おもしろいと思ったのがきっかけです。二年生からサッカークラブで練習しています。

三年生になって三原校長先生に出会いました。先生はサッカーのことにとてもくわしいです。そこで、お父さんたちがおねがいして同こう会をつくってもらいました。全校児童十人で練習しています。ぼくは、ますますサッカーが楽しく、すきになっています。

十月にみんなでかご島ユナイテッドの試合を見に行きました。パスやドリブルなどプロのすごさを感じました。何よりゴールを決めたときの会場をつつむ大かん声にこうふんしました。みんなでハイタッチをしてよろこびました。サッカーはみんなを元気にするスポーツだと知りました。ぼくもいつかあそこに立ちたいと強く思いました。だから、これからも校長先生と練習をがんばります。

絵で笑顔にしたい

南さつま市立万世小学校
4年　染川　美桜

私の家には、ひいおばあちゃんがかいた絵が飾られています。私はその絵を見ると、こんな風に上手にかけたらといつも思います。

そんな私のしょう来のゆめは、イラストレーターになることです。

今年の夏休みには、美術展に行ったり、イラストレーターの先生に会いに行ったりしました。もっと絵が上手になりたいので、本や動画を見て勉強したり、デジタル絵画にもちょう戦したりしました。最近では、風景画や人物画、アニメなど色々な絵にちょう戦しています。お父さんやお母さんから絵をかいてほしいとリクエストされることもあります。絵をかいているときは、わくわくするし、思いどおりにかけたときは、とても満足した気ぶんになります。

これからも色々な絵がかけるように練習して、がんばりたいと思います。

そして、私のかいたイラストでたくさんの人を笑顔にできるようになりたいです。

幸せになれる家

薩摩川内市立城上小学校
5年　安藤　大登

ぼくのしょう来の夢は、大工になり家を建てることです。きっかけは、ネコ小屋を建てるかっこいい父の姿をみたことです。そう思ってから、母とたくさん話をしました。

ぼくは、難聴です。仕事をするとき、困ることがたくさん出てきます。静かな場所でお客さんと会話をしたり、筆談で話を進めたりする必要があると思いました。不安になりましたが、母と話すうちに、なぜか、自信が出てきました。少し心配なことは、お客さんに面どうくさいと思われるかもしれないということです。何度もお客さんに聞き返すと思うからです。でも、お客さんの希望をしっかりと聞きたいです。

そのために、人の話を聞きのがさないように、メモ書きを心がけたいです。さらに、もっと計算や図形の勉強が得意になって、仕事に役立てたいです。住む人の希望をかなえ、できるだけ安い費用で建て、幸せな気持ちになってほしいです。想像するとわくわくします。

ゆめはペットホテルのしょくいんさん

県立中種子特別支援学校
6年　西川　碧咲

わたしは、大きくなったらペットホテルのしょくいんさんになりたいです。

わたしはどうぶつが大すきです。なぜかというと、むかし、じいじが、犬のジョンをかっていたからです。小さいときはこわくてさわれませんでしたが、ジョンが年をとってほえなくなって、だんだんさわることができるようになって、うれしくて大すきになりました。

わたしがペットホテルのしょくいんさんになったら、犬とさんぽをしたりえさやりをしたりするのが楽しみです。

今わたしは、え顔であいさつするのをがんばっています。なぜなら、しごとをするときにコミュニケーションが大せつだと思うからです。

今は自分ができることをせいいっぱいがんばって、みなさんがあん心してペットをあずけられるしょくいんさんになりたいです。